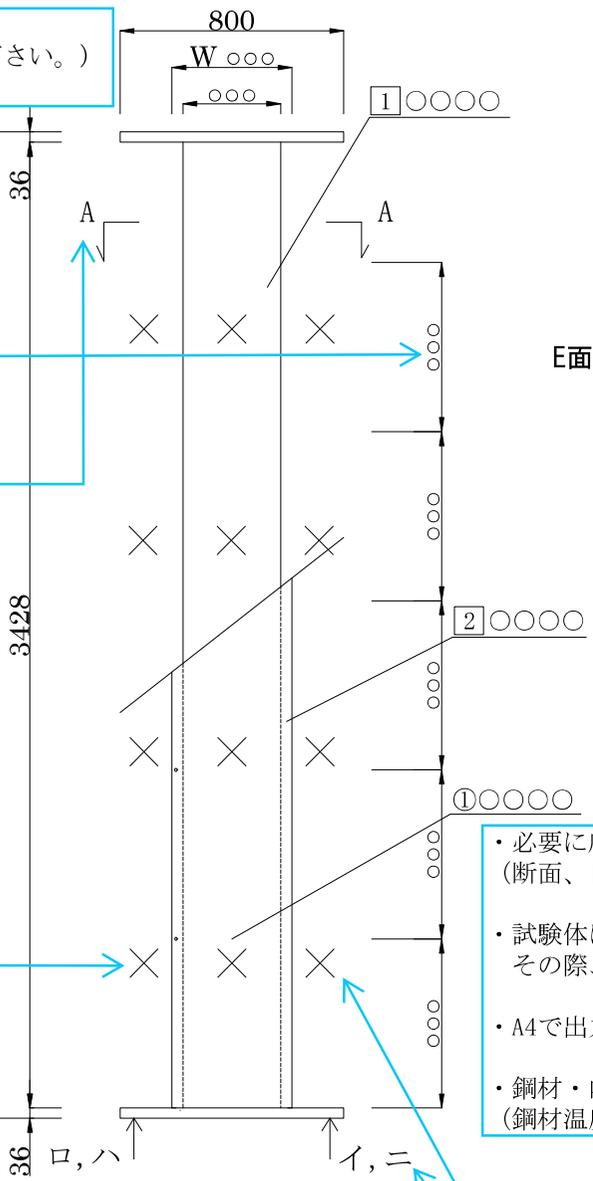


寸法はすべて限定して下さい。
(以上以下など範囲表記にはしないで下さい。)
(チェックリスト⑦)

断面の向きを記載して下さい。
(チェックリスト③)

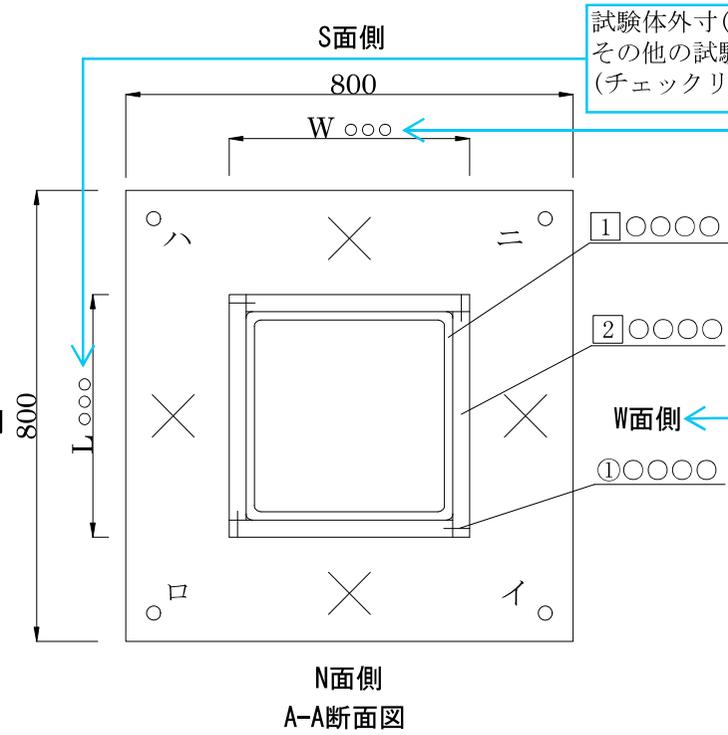
ベースプレートを含めて
H3500として下さい。

加熱温度測定位置は、
試験体表面から100mmとして
下さい。



計測点を図示し、凡例を載せて下さい。
(チェックリスト④, ⑤)

図のタイトルを記載して下さい。 → 図-○ 試験体図 (寸法単位:mm)



試験体外寸(W, L)を記載して下さい。
その他の試験体寸法を記載して下さい。
(チェックリスト①)

方角を記載して下さい。
(外壁合成被覆の場合、
壁側はN面にして下さい。)

- 必要に応じて詳細図等を追加して下さい。
(断面、目地、金物詳細図、面材割付図など) (チェックリスト⑥)
- 試験体に使用した材料は全て図示して下さい。(チェックリスト⑧)
その際、項目名(材料名)および項目番号は評価図書と整合させて下さい。(チェックリスト⑨)
- A4で出力したときに適切な文字サイズにしてください。(チェックリスト⑩)
- 鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に作成して下さい。
(鋼材温度判定の場合は、試験体図中に測定位置を記載し、別図は不要です。)(チェックリスト⑪)

凡例
× : 加熱温度測定位置(16箇所)
↑ : 軸方向収縮量測定位置(イ,ロ,ハ,ニ)

図面枠はヘッダーやフッターと重なるため、
記載しないで下さい。

柱の試験体図面作成チェックリスト(申請者様用)

試験体図面作成時に、以下の内容をチェックして下さい。受付から申請までの手続きをスムーズに進めるため、ご協力をお願いします。

当所でのチェックは3回に分かれます。その都度修正をご依頼させて頂くことがありますので、予めご了承下さい。
(受付時、評価委員会審議前、国交省申請前)

		チェック項目	申請者様 チェック 欄	メモ欄	GBRC チェックの タイミング
図 面	立面図 ・ 断面図	① 試験体の各寸法を記載して下さい。 (試験炉の制約上試験体の施工範囲に上限があります。詳しくは別紙1をご参照下さい。)			受付前
		② 立面図、断面図を図示して下さい。			受付前
		③ 断面図の向き(切断箇所を示す矢印の向き)を正しく記載して下さい。 (見下げ図として下さい。)			評価委員会 審議前
		④ 加熱温度測定位置、軸方向収縮量測定位置を記入して下さい。 (加熱温度測定位置は別紙2をご参照下さい。)			評価委員会 審議前
		⑤ 凡例を記入して下さい。			評価委員会 審議前
	全 体	⑥ 必要に応じて詳細図等を追加して下さい。 (断面、目地、金物詳細図、面材割付図など)			受付前
		⑦ 寸法はすべて限定して下さい。 (以上以下など範囲表記となっていないか再度ご確認ください。)			受付前
		⑧ 試験体の使用材料は全て図示して下さい。			国交省 申請前
		⑨ 項目名(材料名)および項目番号は評価図書と整合させて下さい。			国交省 申請前
		⑩ A4で出力したときに適切な文字サイズにしてください。			国交省 申請前
その他	⑪ 鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に作成して下さい。 (鋼材温度判定の場合は、試験体図中に測定位置を記載し、別図は不要です。)			受付前	

参考として、柱上部の試験体一体型炉蓋図を別紙3に示します。(詳細な図示は不要です。)